

Choho

長崎大学広報誌
[チョーホー]

長崎大学

NAGASAKI UNIVERSITY

ISSN 1347-7994

Summer

Vol.
48

Choho

長崎大学広報誌 [チョーホー]

Vol.48

長崎大学ホームページ <http://www.nagasaki-u.ac.jp/>

学びの 森の 風景

Scene10



坂本キャンパスの裏手にある、小さな森のようなグビロが丘。ここは、1945年8月9日、長崎に原爆が投下されたとき、至近距離の大学病院で被災した多くの患者を、医科大生が人力で運び上げた場所でした。2007年の医学部創立150周年記念のおり、医学部園芸部「ぐびろ」の5、6年生が「何か記念になることを」と、このグビロが丘を整備し、花壇を作って虞美人草(ひなげし)の種をまいたのです。以降、園芸部ぐびろのメンバーの手で整備と種まきが続けられています。一帯には、かつて虞美人草が咲き乱れていたことから、ある教授から名づけられたグビロが丘。今また医学部生の手で美しく甦ろうとしているのです。撮影/沖田夏樹(経済学部 職員)

特集

長崎大学 **Life**
4年間まるわかり

Welcome
to University

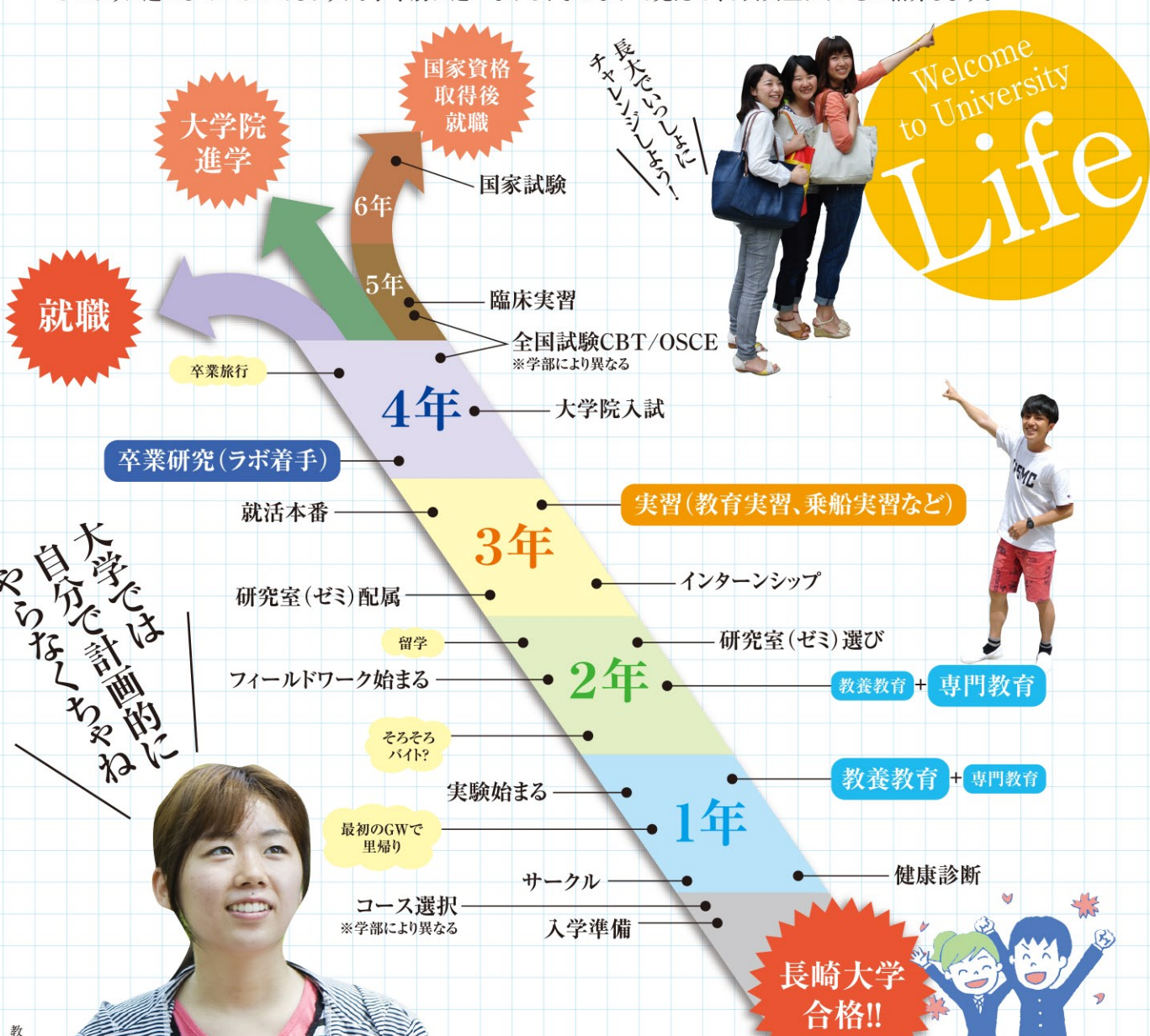
長崎大学

学年別にみる長大生ライフ



4年間まるわかり

大学では、履修する授業の多くを自分自身で選択するため、たとえ同じ学部にも所属していても、4年間の学びは人それぞれ異なります。また、サークル活動やボランティア活動などに取り組む人もいて、学生生活の過ごし方は千差万別です。そのため、大学での4年間が充実したものになるかどうかは、すべて本人次第。人生のなかでとても貴重なこの時間、長崎大学の先輩方はどのように過ごしているのでしょうか。学年別に追いつながり、そのなかで見えてくる長大生ライフをご紹介します。



教育学部1年 喜多亜紀子さん

Point!

9つの学部がある長崎大学。すべてが4年制ではなく、医学部医学科、歯学部、薬学部薬学科は6年制。当然、試験やカリキュラムも違います。また、各学部のコース選択の時期も、工学部や薬学部、教育学部のように入試時に選択するところ、経済学部、水産学部、環境科学部や多文化社会学部のように入学後に選択するところの2パターンに分かれます。高校時代までは学力の研鑽が第一でしたが、大学に入ると自分自身の将来像も見据えていかなければいけません。

学長室 だより

新日中友好21世紀委員会 キャンパスセミナー

6月。一年の中で最も日の長い季節です。日が長くなるとともに、戸外での学生の活動が目立つようになります。今日も、よさこいグループ“突風”の威勢のよい掛け声が、随分と遅くなった夕暮れのキャンパスにこだましています。大学の主役は学生です。学生たちの活気と眼の輝きこそが、大学の生命であり大学の實力を測る最良の指標なのです。

日中の課題を論じ、その後、それぞれについて、同時通訳下で日中の13人の委員と意見交換を行いました。学生たちの発表は、いずれも言語明瞭で論旨も明快、見事な出来栄で、中国側委員からの簡単ではない質疑にも堂々と論理的に応じる様は、我が学生ながら、頼もしさに目を見張るほどでした。



聴講した多文化社会学部の1年生たちも次々と手を挙げて的を射た鋭い質問を発するなど、大変に中味の濃いセミナーとなりました。

去る6月5、6日の両日、元国務委員の唐家璇氏を中国側座長、東芝相談役の西室泰三氏を日本側座長とする日中の有識者からなる「新日中友好21世紀委員会」の意見交換会が長崎市で開催されました。

最後に総括発言をされた日本側座長の西室氏、中国側座長の唐氏の両座長も、異口同音に学生たちを絶賛され、

そのプログラムの最後に、長崎大学での「キャンパスセミナー」が生まれ、本学学生と新日中友好21世紀委員会との意見交換が実現しました。

大学でのひと時に大満足の意を表されました。学長冥利に尽きるお言葉でした。また、ささやかであっても心の通じ合う交流の積み重ねこそが、真の日中友好の道を拓くことを確信させてくれたひと時でもありました。学生諸君に心よりの敬意と、感謝の意を表したいと思います。

セミナーでは毛利衛日本側委員(宇宙飛行士)の基調報告に続き、学生たちが金融、水環境、核廃絶の3つのテーマで15分ずつ

長崎大学長 片峰 茂

CONTENTS

長崎大学広報誌 [チョーホー] Choho Vol.48

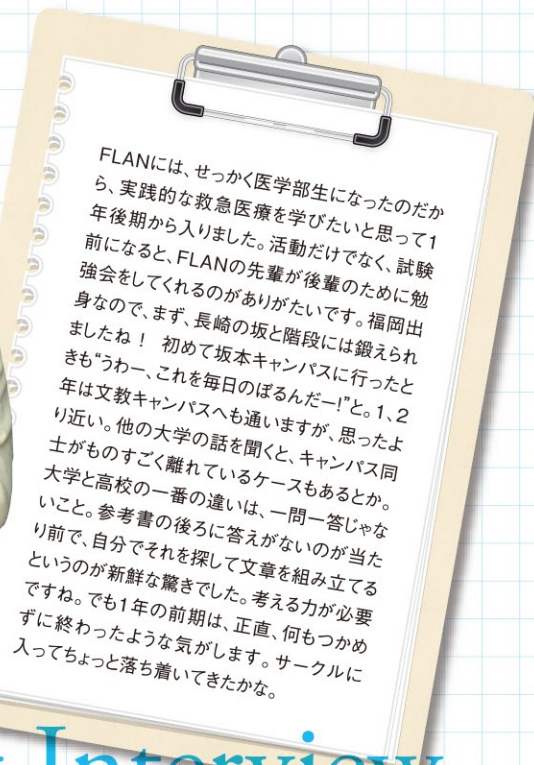
本誌記事を長崎大学関係者が転載する場合は、「長崎大学広報誌Choho vol.〇から」と明記してください。学外の方は、事前に広報戦略本部までご連絡願います。

学長室だより	新日中友好21世紀委員会キャンパスセミナー	1	表紙のはなし
特集	長崎大学4年間まるわかり	2	夏はフィールドワークの季節。環境科学部では海や山、森のなかで水や動植物などを対象にさまざまな調査を行います。今回のモデルは環境科学部3年の中島健太郎さんと日高桜子さん。ともに環境問題を考えるサークル「っじゃすみん」のメンバー(中島さんは部長)で、ふだんから海など、フィールドで活動することが多いのだそうです。
大学の研究最前線	海の天然物に学ぶ創薬化学研究	9	
長崎大学のいま!	環境科学部	11	
地域で活かされる長崎大学の「知」	RECNA	15	
Topics	多文化社会学部	17	
グラバー図譜	チダイ	19	
Information	平成26年度オープンキャンパス	21	
	長崎大学「通」クイズ	22	
	編集後記	22	

学生インタビュー

長崎特有の坂や階段も慣れず、がんばりましょう

医学部2年 龍知歩さん



Student Interview

学部らしさの出る「勉強系」サークル

長大のサークルのなかには、学部の特徴が全面に出た、いわゆる「勉強系」サークルもあります。医学部の救急救命サークル「FLAN」もその一つ。ある医学部生が交通事故現場に遭遇し、「医学を学んでいる自分が何も手伝えなかった」という思いがきっかけで誕生しました。現在、医学部生を中心に29名が在籍し、一次救命処置などのワークショップを学内や中学校で開いたり、病院のER(緊急救命室)の見学したりするなど、活発に活動中です。医学部以外にも工学部にはロボットサークルやメカガール部などが存在します。



卒業生から新入生へ家具や家電のリサイクル

新入生や留学生に人気のあるリユース市は、毎年3月半ば、創設16年目のサークル「つじやすみん」が主催しています。卒業生から引き取った家電や家具を、新入生に優先的に譲り、リヤカーでの配達も行ってくれるというありがたいシステムなのです。



健康診断ではメンタルチェックも

文教キャンパスの保健・医療推進センターの4月は大忙し。中旬から下旬にかけて学生全員の定期健康診断が実施されるからです。なかでも新1年生は身体測定や血圧測定のほか、内科診療やメンタル健診も。健康診断の結果は、約1ヵ月後、各キャンパスの自動発行機から自分で取り出します。

あなたの健康状態は○△□です。



新しい長大生ライフのスタートをみんなが応援しています

入学式が終わるとすぐに始まるのがオリエンテーション。このあたりから自分自身で情報収集しないと戸惑うこととなります。健康診断、学年や学部ごとの合宿をはじめ、やるべきことは意外と多く、目の回る忙しさです。特に1年生は、どの学部でも週3日間は文教キャンパスでの教養教育、残り2日間は各学部での専門教育を受けることとなります。文教以外のキャンパスの学生にとっては変則的な動きになり、移動時間のロスや単位の取りこぼしに注意が必要です。

大学生活にはサークル活動も欠かせません。長大には公式のものだけでも229のサークルが存在します。特に3年、4年で本格的になる長時間の実習や実験は体力勝負ですから、今から積極的に体を鍛えるべし。またサークルで培われる先輩とのタテの人間関係は、日常生活の悩みから試験対策までをフォローしてくれる大切なネットワークとなります。そのため、複数のサークルをかけたとしても、多くの学生も多いのです。

入学試験を突破すると、晴れて大学生活のスタートです。自宅通学以外の学生の場合、まずは住まい探しや新生活の準備から。長崎大学の3つのキャンパスは、いずれも住宅街に位置しており、周辺には学生向けのアパートもたくさんあります。家賃相場は少々高めですが、生活費の節約は工夫次第。例えば、生協が発行している食事カードを使用することで食費は抑えられますし、昨年リニューアルした附属図書館では授業計画(シラバス)に則った教材がふんだんに活用できます。また、サークル「つじやすみん」のリユース市では、卒業生から譲られた家電や家具を新入生が優先的に入手できます。



これが授業計画「シラバス」

各学部が発行する授業計画「シラバス」。それぞれの学年の授業の時間割、カリキュラム内容、必要な教科書まで一目瞭然。冊子で配布する医学部医学科のシラバスの表紙には毎年、開学の祖であるボンベ先生の「ひとたびこの職務を選んだ以上、もはや医師は自分自身のものではなく、病める人のものである」という言葉が刷り込まれています。この言葉を信念に、6年間+研修医の長い道のりを歩いていくんですね。

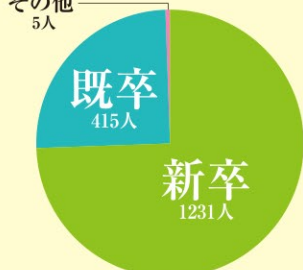


グラフで見る! 新入生の傾向

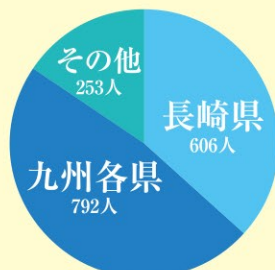
男女比



新卒既卒



出身県



これが今年度の新入生の内訳データ。県内と県外のシェアは4:6なんだ。



1年生

医学部3年 荒木季紗さん



レポート作成や附属図書館の本の予約などにもパソコンは欠かせません。

今年度の新一年生からパソコン必携

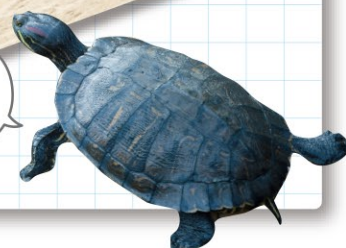
平成26年度の1年生からノートパソコン必携となりました。そのため大学生協ではかなり安く購入できます。また、貸与サービスも実施されています。

先輩の愛の早起きトレーニング

水産学部生で作る学友会は、学部祭である「鴻洋祭」の実施や海浜清掃など、長大の中でも自主活動がかなり活発。こちらでは学部の新入生のために、入学早々「早起きトレーニング」なるものを行っています。とっても「しごき」じゃありません。サッカーなど、スポーツを通じて新入生や上級生と交流し、大学生活に慣れてもらおうという趣旨。県外生の多い水産学部らしい心遣いですね。



僕らの池も学友会が掃除してくれるんだよ。



5、6年生と大学院

目指すは国家試験突破!
そのための臨床実習に向け、厳しい知識&技術試験が

今回の特集では、主に4年制の学部スポットを当ててご紹介しましたが、医学部医学科、歯学部、薬学部薬学科は6年制。それぞれ卒業後は医師、歯科医師、薬剤師の国家試験を目指します。それには5、6年次の臨床実習が欠かせません。そこで、臨床実習ができるレベルかどうかを審査する、全国一斉の共用試験CBTとOSCEが学部ごとに行われます。CBT (Computer-Based Testing) は知識を評価する試験で、学習したすべての領域から無作為に出題され、答えは選択式。OSCE (Objective Structured Clinical Examination) は客観的臨床能力試験で、患者対応や実技を見極める試験。つまり、知識と技術が一定レベル以上であると認められたうえで、初めて臨床実習が行えるのです。医学部と薬学部は4年生で、また歯学部では5年生でこのCBTとOSCE試験の規定点数をクリアして、臨床実習のステージへと進みます。そして、6年の卒業試験を

経て、最大の難関である国家試験に挑むわけです。長崎大学の場合、いずれの国家試験の合格率も高水準で推移しています。

また、4年制学部で学んだ学生のなかにも、卒業後に大学院へ進学する道を選ぶ学生もいます。特に、薬科学科では卒業生のほとんど、工学部では卒業生の6割が大学院へ進みます。ここではさらに専門領域を極め、研究者になる道も拓けています。



卒業旅行

社会人になるその前に
世界を見たい、
思い出を作りたい



単位も卒研もOK。晴れて社会人となるその前に、やっぱり行っておきたいのが卒業旅行。昨年度医学部保健学科を卒業し、現在は看護師として長崎市内の病院に勤務している藤田桃子さんは、この3月、約1ヵ月ほどスペインや南米に卒業旅行をしました。

「一緒に卒業する大親友とスペインに2週間。自分がどうしても行きたかった南米には、周囲に呼びかけていろんな大学生とグループで2週間。ですから3月はほとんど海外でした。お金がかかるけれど、時間のあるうちに、と。特に看護師という職業柄、簡単には長期休暇がとれなくなります。貧乏旅行だったけれど、全国から集まった旅好きの仲間と友達になって、最高の旅でした」。

在学中も様々なプロジェクトに参画した藤田さん。社会に出た先輩として、これから大学生活を始めるみなさんに応援メッセージをもらいました。「大学での自分のモットーは“欲求に忠実に食欲に”。社会に出ると、まだうまく自分を出せず悔しい思いをすることもありますが、一方で大学でいろいろな方たちとの関わりを持ったことが活きている実感もあります。皆さんにも、大学時代に自分がやりたいことを好きなだけやっておくことをお勧めします。上限を決めずに、やれない理由なんか挙げずに。大学って、自分の知らない世界を知っている人が隣にいる場所。一步踏み込んでみると面白い世界が広がっているし、その発見は、絶対に社会で役に立ちます」。



経済学部4年 堂園智佑さん



僕らの経験が
次の学生の糧に
なしてほしい

僕自身、3年生の就活の時に先輩たちにすごくお世話になり、おかげでこの春、ある都市銀行に就職が内定しました。その恩を次の世代に返したくて、今年度の「就活プロジェクト」に関わっています。就活はほんとにそれぞれ個人的な動き。僕は3年の夏休みにインターンシップを3カ所体験しました。自分にとって、仕事をやる意味は何か、その答えを知りたかったのです。答えは見つかりましたよ。しかも僕はどうやら自分が主役になるより誰かを応援したい、それには銀行が一番自分に合っていたので、あとは取り残した単位と卒業研究のテーマ「地方銀行の再編問題」に取り組めます。これまでの3年間に比べ、4年になると状況は個人でバラバラ、単位をとったら大学に出てこない人もいます。一緒に遊ぶこともないし、就活の厳しさも知っているから、お互い気を遣いますね。

Student Interview

3年生後半から4年生、就活が本格化すると、リクルートファッションの学生がぜん多くなりま。就活関連のイベントやセミナーも目押し。無事就職が内定した学生のなかには、その仕事に役立つ資格の勉強を始める人もいます。そんななか、教育学部をはじめとする教員免許取得を目指す学生は、4年の7、8月に行われる教員採用試験に挑みます。もうひとつ4年生の大きな課題が卒業研究です。その提出期限は年明けですが、文字量も多くて厳しく精査されるため、一般的に4年の春くらいからテーマを決めて準備を始めます。卒研をクリアして卒業が確定すると、やっとひと息つけます。

「個」の二年、仕上げの二年

自分を見つめて自分で動く

長大生ならではの「心意気の伝達」
就活プロジェクト

長大には、就職先が内定した4年生が、就活を始める3年生を対象に自らの経験を語り、彼らのためにOBや企業を集めて情報提供する「就活プロジェクト」という自主企画があります。毎年春になると自然に4年生が動き出します。2005年度のリーダーで、今もOBとして関わる中村巖さんに聞きました。「就活って、経験してみないとわからないことだらけです。実際、東京の学生と比べ、OB訪問一つとっても長崎の地理的なデメリットは大きくて、一歩前にいっ食欲が必要で。経験者と接触することで目覚めるきっかけになれば嬉しいですね。逆に、関わる僕らも仕事人としての自覚を再認識できますよ」。長大生らしい「心意気の伝達」が頼もしいタテのつながりとなって、現役学生たちを支えています。

まず、自分のまわりの壁をのりこえることですね。



鉄鋼系商社に勤める
中村巖さん

この日の課題は「朝の挨拶をしない生徒にどう接するか」。具体的な問題のロールプレイングを行いました。



学部をあげて取り組む 教員採用試験対策 特別講座

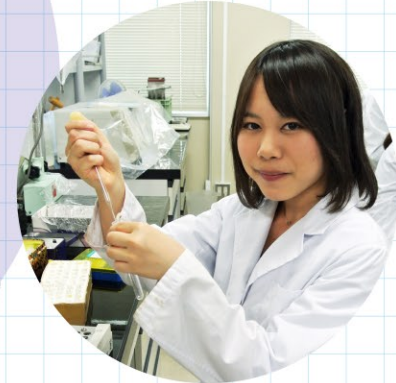
講義期間中は週2日～3日。合宿や集中学習会になると毎日朝から深夜まで！教育学部では、4年の夏に行われる全国の教員採用試験に向けて、3、4年生を対象にかなり手厚い対策講座を行っています。内容は就職教養、面接や小論文、模擬授業対策、各専門科目の特別レッスンまで。希望者のみというものの、今年度は4年生の6割が参加しているとか。県教育委員会から出向したベテランの教師経験教員も協力しています。

4年生

あわわ…もっと早く卒業研究に取り組んでおけばよかった～!



これが私の実験ノートです



実験と実験ノートで 研究をさらに極める

薬学部は、6年制の薬学科と、学生のほとんどが大学院へ進む薬科学科で構成されており、4年生は専門的な実験が集中的に行われる大切な時期です。実験室をのぞいてみると、動物の組織試料を試験管で分析中の谷口麻里子さん(4年)、その隣の前田理恵さん(4年)のノートには細かな文字で実験記録がびっしり。STAP細胞騒動で、がぜん世間の注目を浴びることになった「実験ノート」の正しい書き方も、この時期に徹底的に叩き込まれます。薬剤にも強い特殊な紙質でできている実験ノートは、大切な公式記録なのです。

人類は古来より、植物や微生物が作り出す天然物を病気の治療に用いてきました。近年では、従来、採取が困難であった海洋生物から、複雑な構造とそれに起因する興味深い生理活性を持つ多くの天然有機化合物が単離されています。それらの天然物の中には、より有効な形に分子構造を改変することにより、実際の薬として病気の治療に用いられているものもあります。例えば、再発乳がんの治療薬として最近認可されたエリブリンという抗がん剤は、日本の磯に生息するクロイソカイメンから単離されたハリコンドリンBという天然物を基に開発された薬剤です。

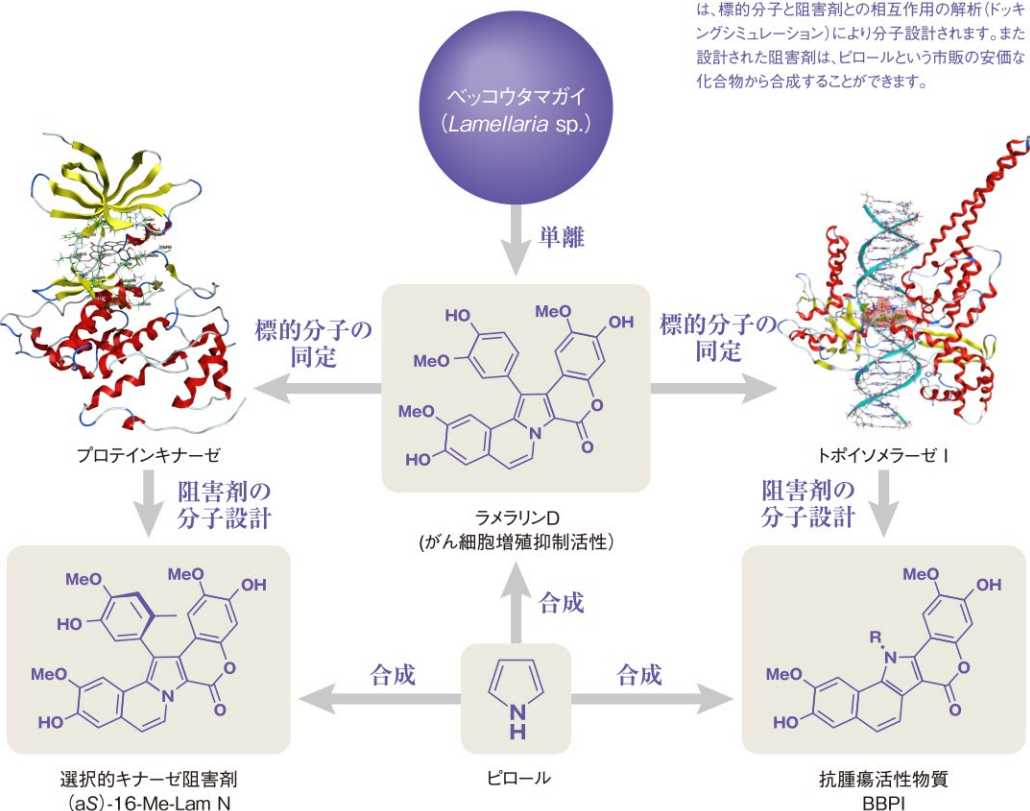
がん細胞の増殖を抑える 海洋天然物ラメラリン

私達は、ラメラリンという海洋天然物に興味を持ち、創薬化学研究を行ってまいりました。ラメラリンは複数の芳香環が縮合した海のポリフェノールのような化合物ですが、一九八五年にカリフォルニア大学のFaulkner教授らにより最初の単離・構造決定が報告されて以来、現在までに置換基が異なる約五十種類の天然物が報告されています。一九九六年にスペインの研究者らにより、ラメラリンDが、複数の抗がん剤に対して耐性を獲得した多剤耐性がん細胞

な問題が存在します。そこで、近年では、がん細胞に特異的に発現したタンパク質の働きを阻害し、がん細胞のみを死滅させる分子標的薬の研究が盛んに行われています。そのような分子標的薬の成功例として、慢性骨髄性白血病治療薬のイマチニブや、非小細胞肺がん治療薬のゲフィチニブ

ベッコウタマガイ(Lamellaria sp.)から単離されたラメラリンは、細胞増殖にかかわる複数タンパク質の働きを阻害し、がん細胞の増殖を抑制します。各タンパク質(標的分子)の働きを選択的に抑える阻害剤は、新しい抗がん剤開発のための先導化合物となり得ると考えられます。そのような選択的阻害剤は、標的分子と阻害剤との相互作用の解析(ドッキングシミュレーション)により分子設計されます。また設計された阻害剤は、ピロールという市販の安価な化合物から合成することができます。

海洋天然物ラメラリンからの 抗がん剤候補化合物の創製



の増殖を抑えるという報告がなされ、ラメラリンが注目されることになりました。当時、私は本学水産学部の石橋郁人先生と共同でラメラリンの合成研究を行っていたのですが、幸いなことに、活性の報告があった翌年には、ラメラリン系天然物の世界で初めての全合成を報告することができました。全合成とは、単純で入手容易な化合物から複雑な天然物を、生物の力を借りずに完全に人工的につくりあげる技術です。天然物をモチーフにした創薬研究では、効率的な全合成手法の開発が重要です。工学部で有機化学を専攻とする私達は、ラメラリンの全合成を達成した後も、合成法に様々な改良を加え、現在ではどのような置換様式を持つラメラリンでも意のままに作り出すことが可能となっています。

美しい三元複合体モデル そして生まれたBBPI

ラメラリン系天然物の最初の全合成を達成した後、この全合成手法を活用してラメラリンDの類似体を複数合成し、活性評価を行いました。その結果、ラメラリンの構造のどの部分が、がん細胞の増殖を抑えるのに必要なかを明らかにすることができました。その論文を発表した翌年には、フランス国立保健医学研究所のBailly博士らが、ラメラリンDが細胞分裂を抑えるのは、トポイソメラーゼIというDNAの紐を解く酵素を阻害するためであると報告しました。その際、ラメラリンがどのようにしてトポイソメラーゼIの働きを阻害するのかを示す、三元複合体モデルを提案してまいりました。私達はBailly博士らとの共同研究を進

が挙げられます。これらの薬剤はそれぞれ、がん細胞で変異したBCR-ABLまたはEGFRというタンパク質のキナーゼ領域を阻害することにより、顕著な抗腫瘍効果を発揮します。キナーゼとはタンパク質等のリン酸化を行う酵素であり、その活性の亢進や低下が様々な病気の原因となります。

海の天然物に学ぶ 創薬化学研究

め、細胞増殖抑制活性とトポイソメラーゼI阻害活性の間には、明確な相関があることを突き止めました。さらに、Baillyモデルの精緻な美しさに魅了され、新しいトポイソメラーゼI阻害剤の創製研究にのめりこんでいきました。その結果生まれたものがBBPIと名付けた一連の新規骨格化合物です。合成したBBPIの多くが、ラメラリンDを上回る強いトポイソメラーゼI阻害活性ならびに細胞増殖抑制活性を示しました。また、マウスを用いた動物実験の結果、水溶性のBBPI誘導体は、抗がん剤として臨床で用いられている薬剤に匹敵する顕著な抗腫瘍活性を示すことが明らかになりました。

分子標的薬を目指して アカデミアで連携を

トポイソメラーゼI阻害剤のような従来型の抗がん剤の場合、正常細胞に対する副作用を避けることが出来ないという本質的

私達はフランス国立科学研究センターのMeijer博士との共同研究により、ラメラリンDが、がんや神経変性疾患の発症に関わるキナーゼ類を強く阻害することを見いだしました。また、ラメラリンの特異な分子構造を利用してキナーゼの活性を制御し、選択性の高いキナーゼ阻害剤を創製する方法を見いだすことができました。現在、これらの基礎的な知見を基盤として、文部科学省新学術領域研究・がん支援「化学療法基盤支援活動」の支援の下、キナーゼ阻害作用機序とする新たな抗がん剤候補化合物の創製研究を進めています。

創薬研究は、分子設計や合成を行う化学者と、活性評価を行う生物学者の熱意ある連携がなければ、成立しません。大学のよいうなアカデミアでは、個々の研究者が自分の興味に従って自由に研究を行っているため、連携が困難な場合が多々あります。幸い、私達の創薬研究においては、国内外の第一線の生物学者がラメラリンの活性に興味を持ち、学術的にインパクトのある共同研究を展開することができました。ラメラリン自身は単純な有機化合物にすぎませんが、トポイソメラーゼIやキナーゼのような標的タンパク質との相互作用まで考えると、格段に輝きを増し、興味深い分子へ変身したように感じています。これは、長い生物進化の過程で、構造チューニングを受けてきた天然物の特性であると考えられます。海の生物から与えられたこの宝物を大切に育て、がんなどの難病の治療薬の創製に結びつけたいと願っています。

Baillyモデルの精緻な美しさに魅了され 研究にのめりこみました

Text by Iwao Masatomo



共同研究者の石橋郁人教授と福田勉助教、および研究支援の原田一生技術職員と。



岩尾正倫 教授

長崎大学大学院工学研究科物質科学部門教授、大分市生まれ。九州大学理学部化学科卒業。一九八一年理学博士。長崎大学教養部教授、工学部応用化学科教授を経て、二〇一一年より現職。専門は有機化学。合成方法論の開発、ならびに天然有機化合物をモチーフとする創薬化学研究。

長崎大学のいま! 環境科学部

文理融合は時代の流れ 学際的な学びの先進学部

環境科学部が創設されたのは平成九年。この学部の特徴の一つは「文理融合」、すなわち文系と理系が共存していることです。環境科学部長の田井村明博先生にお話を聞きました。

「当時、文理融合という考え方は、大学院レベルではすでにありました。しかし、国立大学ではまだなじみがなく、長崎大学環境科学部が日本初。相当なインパクトだったようです。今では、複数の専門領域を横断的に学ぶ『学際的な教育』は大学の新しいスタンダードになっていると言っても過言ではありません。環境科学部の入試には、文系受験と理系受験という二つの入口があります。二年生に進級するときに文系の環境政策コースと理系の環境保全設計コースのどちらかを選択しますが、自分が文系受験と理系受験のいずれ

で入学したかということに関わりなく、進みたいコースを選ぶことができます。また、選択しなかったコースの科目をコース横断科目として学ぶことで、より学際的素養を高めることもできます。実際のところ、入学時点で自分の将来像や人生設計が漠然としているのは無理からぬことです。『何かをやっているうちに他方に興味がわいてきた』ということはよくありますね。ただ、環境という分野は幅広いので『結局、何を学んだかわからない』とならないよう、まずは確固たる専門領域を身に付けたうえで、関連するカリキュラムを学んでいきます。実際にどういう場面で学際的な知識が必要になるのでしょうか。「例えば廃棄物を専門にする場合、廃棄物の技術を修得すればそれで全てが解決するわけではありません。廃棄物には必ず法的な問題が関わるので、法律や政策にも詳しくなければいけません。同時に、社会的問題でもあるため社会学の知識も必要ですし、経済学的な観点からのアプローチも欠くことができません。廃棄物に限らず、環境問題の解決は多方面からの学際的的理解が必要です。この学部の卒業生は自分が学んだことを国内外へ広く伝えていく社会的使命を持つ

長崎大学のいま!

技術と語彙力を 現場で磨き 環境のプロフェッショナルを 目指す



田井村明博 環境科学部長

たいむらあきひろ
長崎大学大学院水産環境科学総合研究科教授、一九八〇年筑波大学大学院修士課程修了。二〇一二年より現職。専門は環境生物学で、暑熱・寒冷暴露による生体反応の解析・評価から温度湿度環境の変化がヒトの生体にも及ぼす影響に関する研究を行っている。

ています。在学中に語彙力やコミュニケーション能力を高めることも必須なのです」。

確かに、特に行政関係の仕事となると、専門知識だけでなくそれを伝える能力も必要ですね。「はい。環境科学部卒業生の就職率は九十%以上の高水準ですが、実はそのうちの約二十%が公務員。なかには環境省や県の環境部に採用された学生もいます。しかし、今やどんな企業にも、環境に関するポジションがあり、環境系の専門知識をしっかりと身に付けていければ、その部署でリーダーになります。医・歯・薬・教育学部のように免許を授けられた専門家ではありませんが、環境というテーマのもとでの確かな専門性を得て社会に出ていく、そういう学部なのです」。

フィールドワーク重視 一年生から現場経験

環境科学部には、入学直後からフィールドワークの実習があると聞きました。「そうですね。環境科学には

フィールドワークが欠かせません。実験室に閉じこもるより、自然のなかに飛び出して水や空気、動植物などさまざまな対象を調査したり、現地の人々の聞き取りなど、現場経験を積んでいくことで、環境問題への理解が格段に増します。特に夏期はフィールドワークが盛りだくさんです。環境科学部は、二〇〇七年に長崎県および雲仙市と協定を結び、島原半島全域を持続可能な社会づくりのための教育拠点と位置付けて、教育と研究に活用しています」。

もう一つ、他学部に比べて留学生在が多いのも、環境科学部の特徴ですね。

「環境科学は、そもそもグローバルなジャンルです。環境科学部は留学生の入学定員を設けている長大で唯一の学部で、常に四十名以上が在籍しています。そして、ここ数年、学部教育の国際化が進みました。昨年度から、海外提携校からの短期留学生を対象にしたサマースクールを夏休みに実施するようになりました。このサマースクールでは英語を共通言語とし、在学

と短期留學生とが机を並べて一緒に学びます。在学生の多くは入学時点で英語があまり話せませんが、サマースクールに参加して同年齢層の短期留學生と英語でコミュニケーションしていくうちに英語が話せるようになって、自信もつきます。私から見ても、サマースクールに参加した学生の表情がぐっと生き生きとします」。

海外への留學も積極的に後押ししており、環境研修と語学研修のための海外フィールドワークも行っていきます。海外環境研修は今年度からはコース専門科目の中の選択科目として位置づけ、その取得単位を卒業要件に含めることにしました」。

森林、エネルギー、環境ガバナンス、都市環境計画、環境ビジネスなどが専門の新任教員も加わり、環境スペシャリストを育てる体制が強化された環境科学部。国内外の環境の現場で、文系理系の枠を飛び越えて、学際的な発想で活躍する人材を育成します。



タイの国立公園で樹木の高さを測定する学生たち。



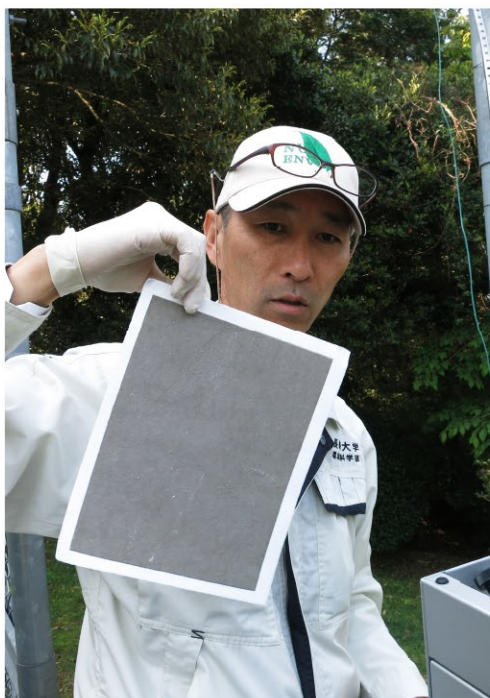
雲仙でのフィールドワークのようす。

長崎の地の利を生かした

越境大気汚染プロジェクト

PAHs(多環芳香族炭化水素)濃度は夏季には低く、冬季に高い。

この数年、メディアでも注目されているPM2.5をはじめ、現代社会ではさまざまな化学物質が国境を越えて飛びかかっています。環境科学部では、多分野の研究者が複数参加する「越境大気汚染プロジェクト」が展開されています。中心となっている高尾雄二教授に伺いました。



フィルター交換をする高尾先生。調査は学生も手伝い、長崎だけでなく沖縄や韓国のチェジュ島も行っています。

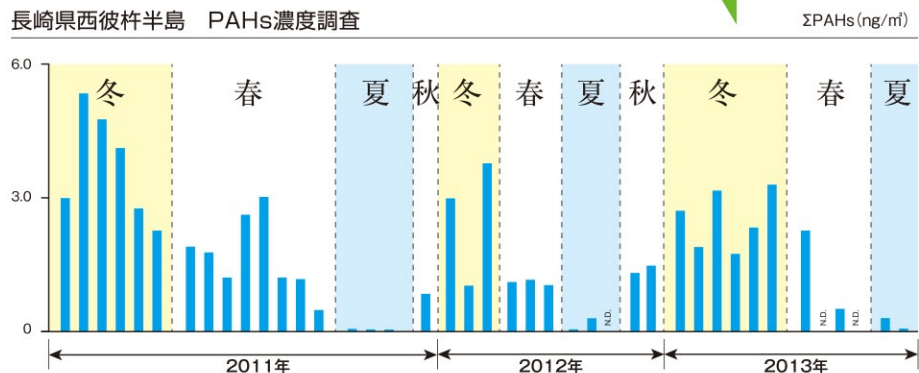
「このプロジェクトが動き出したきっかけは八年前、五島や対馬で発令された光化学スモッグ警報でした。光化学スモッグといえば、一九七〇年代の都市部ではよく問題視されていました。自然豊かな離島では初めての例です。これは外国の大気汚染が影響しているのではないかと、とすぐに学部内の他の研究者に声をかけ、共同で調査を開始しました」。

具体的にはどんな調査を行っているのでしょうか。「山のなかに大気捕集ステーションを設置し、特殊なエアサンプラーのフィルターを定期的

に交換して持ち帰り、成分を抽出して分析します。町なかでは車の排ガスなどの影響で正確な数値が得られませんが、大陸から海を渡ってくる大気をとらえやすい地形を探した結果、長崎県の全面的な協力を得て県民の森にステーションを作ることができました。私は化学分析、それも発がん性を有する多環芳香族炭化水素などを調査していますが、ほかに急性毒性の試験、放射線や気象学的な解析、生物への影響など、さまざまな分野の研究者が関

わっています。また、文系的アプローチにより、越境大気汚染の影響等に関する住民意識調査や政策提言なども行いつつあります。さらに、環境科学部だけでなく、医学部の尾長谷靖講師はPM2.5と呼吸器系疾患との関連性を疫学的に解析しています。実際に調査を行って明らかにしたことは？

「毒性物質の候補として考えられる化学物質の濃度は、夏季に低く、冬季は十倍になります。これは冬場の中国東北部の石炭



右は今年度から専属の山口助教。

留学生との交流が自分の留学に活かせる

サマースクールと

短期派遣プログラム

環境科学部では、今年春、前年度に短期留学を経験した先輩たちが、新一年生を対象に英語で留学報告を行いました。入学早々、国際化教育の一端を体験した新入生。そして、夏にはオール英語のサマースクールが始まり、目指すは翌年

の短期留学です。国際化教育全体のコーディネーターの一人、梅津千恵子教授のお話です。

「環境科学部の国際交流事業は独自の特徴があります。協定校であるタイや台湾からの留学生を十名受け入れ、夏に二週間のサマースクールを行います。これには日本人学生も参加し、環境をテーマにしたセミナーなどで共に学び、フィールドワークなどを通して仲良くなり、そして今度は母国に帰った留学生の元を訪れて受け入れてもらう、つまり相互に留学サポーターになって交流を重ねていく仕組みがうまく

機能しているのです。そして帰国すると次の新入生に留学報告をして継承していきます。この短期派遣プログラムをきっかけに、在学中に長期の海外留学に挑戦する学生も登場しました。留学先では語学研修はもとより、環境実習や環境施設見学、環境ボランティア活動など盛りだくさん。昨年はハワイにも行ったんですね。

「はい。ハワイのオアフ島はさまざまなエコチャレンジをしており、非常に面白いフィールドです。ハワイ大学のコミュニティカレッジで研修し、ごみ焼却や発電施設、自然保護区の見学のほか、ちょうど行われたホルルフェスティバルのボランティアとしてパレードを取材し、インターネットの動画サービスにアップするなど、活発に活動しました」。

「そのほか海外研究拠点も増やしており、タイのほかインドネシア、オーストラリア、スウェーデンなどの大学との研究交流を進める予定です。」

「環境科学部の国際交流事業は独自の特徴があります。協定校であるタイや台湾からの留学生を十名受け入れ、夏に二週間のサマースクールを行います。これには日本人学生も参加し、環境をテーマにしたセミナーなどで共に学び、フィールドワークなどを通して仲良くなり、そして今度は母国に帰った留学生の元を訪れて受け入れてもらう、つまり相互に留学サポーターになって交流を重ねていく仕組みがうまく

機能しているのです。そして帰国すると次の新入生に留学報告をして継承していきます。この短期派遣プログラムをきっかけに、在学中に長期の海外留学に挑戦する学生も登場しました。留学先では語学研修はもとより、環境実習や環境施設見学、環境ボランティア活動など盛りだくさん。昨年はハワイにも行ったんですね。

「そのほか海外研究拠点も増やしており、タイのほかインドネシア、オーストラリア、スウェーデンなどの大学との研究交流を進める予定です。」

「そのほか海外研究拠点も増やしており、タイのほかインドネシア、オーストラリア、スウェーデンなどの大学との研究交流を進める予定です。」



ハワイでの研修の一コマ。ボランティアスタッフとして、ホノルルフェスティバルのパレードを取材する学生たち。

「そのほか海外研究拠点も増やしており、タイのほかインドネシア、オーストラリア、スウェーデンなどの大学との研究交流を進める予定です。」

「そのほか海外研究拠点も増やしており、タイのほかインドネシア、オーストラリア、スウェーデンなどの大学との研究交流を進める予定です。」



棚田では田植えも体験、その後意見交換会も行いました。



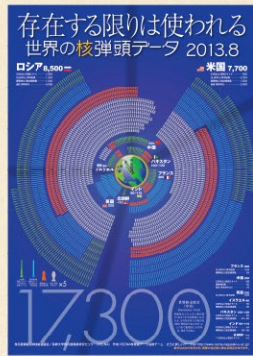
地元産の食材を使った饅頭作りもお手伝い。

環境教育研究 マネジメントセンター

フィールドでの研究成果を地域に還元する

「センターの活動では、特に長崎県と雲仙市との連携によるEキャンレッジ推進事業がわかりやすいですね。島原半島はジオパークとして観光活性化を目指していますが、その一端をセンターが担っています。小浜温泉のバイナリー発電施設の推進にも関与しましたし(チョーホー47号参照)、島原半島が世界ジオパークに認定される際には、国際ユネスコ会議の運営をお手伝いしたり、公開講座を行いました。また、学生と共に行った観光客への聞き取り調査では、地元感覚と観光客のニーズの違いなどをあぶり出し、ジオ・ツーリズムのプランに役立てて

もらっています。島原半島は学生にとっても魅力的なフィールドですが、そこでの調査研究が地域に還元されるという視点で進めています。センターを窓口にも、自治体の審議会の委員を学部の教員が務めたり、アドバイザーとして派遣するなど、実績を重ねています。」



昨年八月に発表されたRECNAオリジナルの核弾頭データポスター。

「市民講座は継続して行っているのですが、そのダイジェスト版をインターネットで配信する試みを始めています。最近気づいたことがあります。長崎市の子どもたちや県外からの修学旅行生は平和教育に接する機会があるのですが、長崎市外で県内の子どもたち、例えば離島では、核や軍縮について専門家から話を聞く機会に乏しく、非核意識には温度差があるんですね。そこで今年度からは県と協同して、対馬や五島の県立高校に出張講師として出向くことも始めました。

CTBTOのような国際組織のスタッフと話していて実感するのは、技術だけでなく、平和への意識の高いエンジニアを求めていること。また、海洋地質学の知識を持ちながら外交官になって海底資源の問題を扱うなど、文理融合は現場レベルでどんどん進んでいます。そういう話を通じて、長崎の若者を刺激していきたいですね」。

核軍縮のデータベース作りと情報発信、そして人材育成。RECNAの取り組みは、年を追うごとに広く確実に実績を積み重ねています。

世界の核軍縮の情報をより早くわかりやすく
今年五月、ニューヨークで開かれた国連NPT（核不拡散条約）再検討会議のための準備会議に長崎の若者八名が参加し、日本のメディアでも大きく報道されました。この「ナガサキ・ユース代表团」を企画した核兵器廃絶長崎連絡協議会は、長崎県と長崎市、そして長崎大学の三者が連携協定を結んだ組織です。長崎大学核兵器廃絶研究センター（RECNA）がプロジェクトの企画運営をしています。文教キャンパスにRECNAが誕生して二年。長崎でも、その存在感は次第に大きくなっています。広瀬副センター長にRECNAのこれまでとこれからを語っていただきました。

「ナガサキ・ユース代表团は二年目ですが、これまであまり活性化されていなかった大学生などの若い層が核軍縮の現場の空気を体験することは、将来につながる動きとして意義深いと考えます。今の季節、一番関心があるのは、今年の長崎原爆の日にどんな要人が来崎するかですね。一昨年は、包括的核実験禁止条約機関（CTBTO）の準備事務局長だったティボル・トート大使をお迎えして、学生主体で市民向けの公開シンポジウムを企画しました。みなさん被爆地長崎で市民と対話できるチャンスを好意的に受け止めてくれます。また、この時の学生のなか



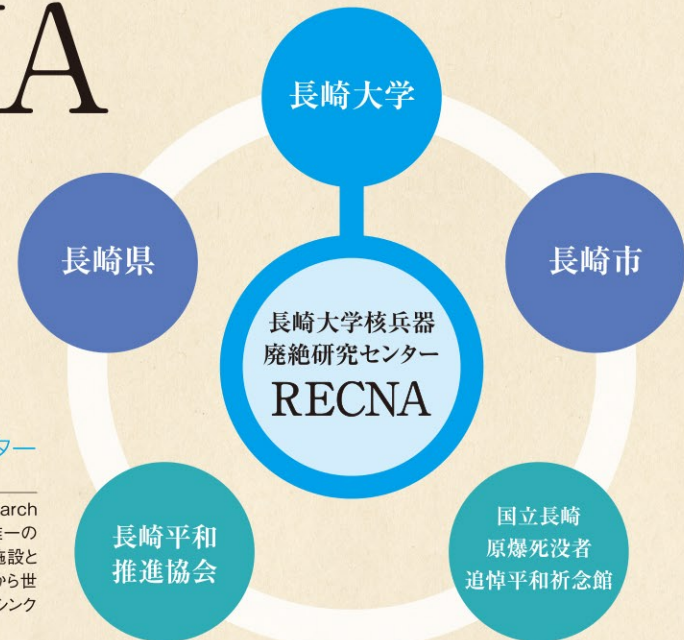
ナガサキ・ユース代表团
(2014年5月、ニューヨーク国連本部にて)

門戸は広く県下の大学生、院生、同年代の若者に開かれていますが、今回、公募で選ばれたのは、くしくも長崎大学の学生、それも女子ばかりとなりました。NPT会議のモニタリングができる程度の英語力や、核問題への関心に関する選抜試験があります。ユースの報告会では、国連NPT準備委員会議長や各国からの参加者へのインタビューをまとめたVTRを流し、ドイツの若者グループとのディスカッションの様子を報告。「議論の現場では市民の声が届いている事実を実感した」「世界には核兵器をなくしたいと考えて活動する若者が多かった」「これらの出会いを活かして新たなネットワークを築いていきたい」と、自身の生の言葉で感想を語りました。

核軍縮に特化した 日本でもまれな存在 RECNA



RECNAとは長崎大学核兵器廃絶研究センター（Research Center for Nuclear Weapons Abolition）の略。世界唯一の被爆医科大学の歴史を継承する長崎大学の共同研究施設として、核兵器廃絶に向けた情報や提言をさまざまな角度から世界に発信します。また、一般市民のために地域に開かれたシンクタンクとして運営されるものです。



地域で活かされる
長崎大学の
知
Knowledge of
Nagasaki
University
Vol.2



2012年12月に長崎大学の文教スカイホールで開催された「北東アジア非核兵器地帯への包括的アプローチ」の公開セッション。



国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館で行われている市民講座の様子。



2012年、ティボル・トート大使を迎えての公開シンポジウムを開催。

から、ユース代表団のメンバーも育っています」。

核軍縮の第一線で活躍する方々の生のお話が聞ける機会が、長崎でもぐんと増えましたね。

「はい。そのほか、北東アジア非核兵器地帯設置にむけての国際共同研究では、中国、韓国、オーストラリア、アメリカの専門家などを一堂に集め、国際ワークショップを開催してきました。今年には九月に東京で開催する予定で、その後は参加者のタナバラ元国連事務次長に長崎まで来ていただき、市民向け講演会も開く予定です。RECNAの役割は、こういった情報発信事業のほかに、データベース作りが大きな柱となります。長崎でいえば過去の被爆の実相や語り部事業は原爆資料館が中心となって担っていますが、核軍縮の共同研究や国際協定の情報といったジャンルは弱く、これまで海外からアプローチがあっても応えきれませんでした。そんななか、RECNAの場合には核軍縮に特化した専門家が揃っており、データベース作りにも力を注げます。数年がかりで構築した『世界の核弾頭』データベースは、核武装を進めている国々の保有核兵器だけでなく、現在の核兵器開発計画やミサイル発射テストなどの情報も盛り込み、市民も気軽に活用できます」。

インパクトのある核弾頭データのポスターが話題になりました。人材育成についてはどうでしょう。

1000時間マラソン? 楽しく学びながら クリアできそうです!

学生
インタビュー

多文化社会学部に入学したばかりの、1年生3名にインタビューしてみました。長崎県出身の松本沙世子さん、福岡県出身の堀悖之助さん、そして東京都出身でオランダ特別コースの山本瑞穂さんです。まずは志望理由から。

松本さん 「私は語学だけではなくて外国の文化や政治、社会的な知識を勉強したくて志望しました。入ってみると、新潟や北海道など、九州以外からの学生が思っていた以上に多く、言葉や文化の違いも刺激的ですね」

堀さん 「僕は最初から外国語系の大学を目指していたので。これからの時代は英語は強力なアドバンテージになると思います」

山本さん 「私は日本史で江戸時代のことをしっかり勉強したくて、それでオランダという異文化に興味を持ちました。文学部も考えたのですが、留学にも興味があり、それらを関連して学べるこの学部のオランダ特別コースが一番自分に合いそうだったので」

知の1000時間マラソンなど、入って早々鍛えられますね。

堀さん 「いや、恐れていたほど大変じゃない。マジメにやっていたら結果的に1000時間に到達できそうですよ」

松本さん 「英語カフェはテーマも決まっているし、毎時間だからおしゃべりするわけじゃないから、力がつく実感があります」

山本さん 「今は英語中心ですが、オランダ語の授業が始まるのも楽しみです。留学もしたいですね」

まだ将来どんな道に進むかなど決まっていないという3人。じっくり力をつけながら、思い思いの夢を描いていくでしょう。

二〇一四年、学内外からの熱い注目を集めるなか、多文化社会学部がスタートを切りました。四月三日の学部開校式には、希望に満ちあふれた新入生九十九名が集合。多文化社会学部の主な学びの場は、文教キャンパスの総合教育研究棟。エントランスには学部名の真新しいプレートが掲げられました。

雲仙合宿で交友を深め 異文化衝突の現場へ

長崎大学の入学直後のイベントといえば新入生合宿研修。多文化社会学部でも、お互いの親睦を深めるため、雲仙温泉で合宿を行いました。夕食後のグループワークの時間は、英語力強化をうたう多文化社会学部らしく日本語禁止。各班のキャッチフレーズを考える話し合いもプレゼンもすべて英語で行いました。英語の得意な学生、とまどう学生などそれぞれでしたが、助け合いながらなんとかクリア。翌日は十七世紀に起こった日本屈指の大戦争「島原の乱」の舞台となった原城跡へ。「ここは、いわば異文化衝突の現場です」

という木村直樹准教授の臨場感あふれる解説を聞きながら、当時の様子に思いを馳せました。

コーチングフェローが 盛り上げる英語カフェ

多文化社会学部の大きな特徴の一つは、一年次前期に、トランジションプログラム（通称・知の1000時間マラソン）が用意されていることにあります。そこでは、高校での学習から大学での学びへの移行をはかると共に、英語力を高める集中トレーニングが行われます。そのなかの一つ、現在、週七回行われている英語カフェをのぞいてみました。カフェらしく、飲み物や食べ物は持ち込み自由。全体を取り仕切るのは二、三名のコーチングフェローです。「連休はどこに行きましたか？」といった軽いやりとりが始まり、三グループに分かれた英語しりとりで次第に参加者の表情がほぐれていきます。その後、自分の好きな英単語を使い、テーマに沿った英文をグループごとに作りあげることに。ゲーム感覚の楽しい雰囲気なかで、英語が飛び交っていました。「今日の課題は瞬発力。グループごとに競い合いながら、英単語をより早く思いつき、使いこなせるようになることが狙いです」とコーチングフェローの片岡宜子さん。コーチングフェローは日本の大学に初めて導入されたポジションですが、教員と学生の間にあって、英語学習の助け

来年度の一年生から 全寮制で留学生と生活

英語は、日常的な会話でどんな使用が上達の一歩の近道だといわれています。そこでニューズ！ 来年四月、長崎大学の新しい学生宿舎が誕生し、多文化社会学部の学生は、全員が一年生の一

けや留学相談などこれまでにないきめ細かな指導を行います。この学部の学生は、十名あたり、教養ゼミナール担当教員と英語関連教員、そして助教、コーチングフェローの三名が指導するという恵まれた指導環境で一年次を過ごします。

年間、寮生活を送ることになります。ここには外国人留学生も入居するため、日常会話はすべて英語。日本にいながらにして英語力が鍛えられます。

入試に際して設けられた英語の高いハードルを乗り越え集まった新入生は、英語カフェのほか、夏季集中英語講座や短期留学など、さまざまなトレーニングで英語力を高め、その後、各コースで専門的な学びを深めていきます。英語はあくまでもツール。それで何を学び、国際舞台でどう活かしていくのか―長崎大学初の人文系学部の挑戦が始まりました。

多文化社会学部 キックオフ!



コーチングフェロー



教員より年長的にも近く、なかには留学経験もあるスタッフで構成される新ポジション。授業や留学について学生も気軽に相談できます。

英語カフェ



今後はディスカッションや映画鑑賞などさまざまな展開が予定されています。

雲仙合宿

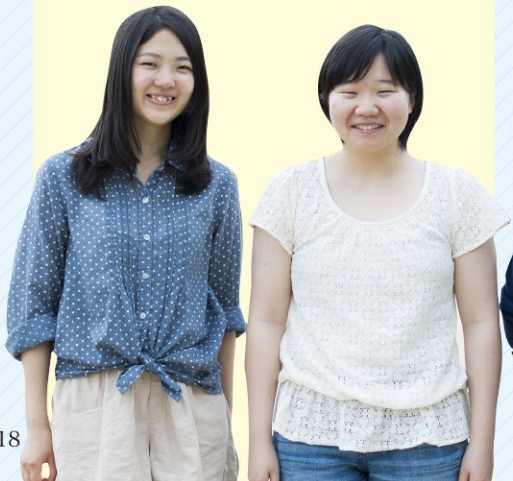


入学してすぐの雲仙合宿では各班のキャッチフレーズを決定!

上掲式



総合教育研究棟に多文化社会学部のプレートが取り付けられ、片峰学長や佐久間学部長らの手でお披露目されました。



英語そのものを学ぶというより、英語で何かを学ぶのだから、実践力がつく。自分のアドバンテージになると思います。

左から山本さん、松本さん、堀さん。



その紅色、 クリムゾン

人気企画の「グラバー図譜」、今回は、目にも鮮やかなタイの絵が登場しました。山口敦子先生、解説をお願いします。

「チダイは、北海道から九州にかけての日本沿岸、韓国や中国の沿岸に分布する魚です。同じタイ科マダイ亜科に属するマダイに良く似ていますが、マダイはマダイ属、チダイはチダイ属に分類されます。チダイとは、鯉蓋(えらぶた)の後部がまるで血がにじんだように赤く見えるため、血鯛、もしくは、マダイに比べて小型であるため“稚鯛”と呼ばれるようになったとする説があります。グラバー図譜ではチダイの特徴が鮮明に描かれていますので、じっくりご覧ください。二種は大変良く似ていますので間違えられることもあります。チダイの鯉蓋の後部がより赤く、尾鰭の後縁が黒くないことでマダイとは区別ができます。また、マダイは全長1mにも成長しますが、チダイは最大でも四十cmほど。英名ではマダイが red sea bream で、チダイは crimson sea bream です。レッドは赤、クリムゾンは赤より彩度の高い紅色ですね。

「長崎では、東シナ海で底曳網や延縄などにより漁獲されていますが、漁獲量はあまり多くはないよ
けられました。その後研究が重ねられ、最近まで *Eyinnis japonica* が使用されていましたが、再度検討された結果、二〇〇七年に *Eyinnis tumifrons* (Temminck and Schlegel, 1843) とするのが妥当であると報告されました。学名の *tumifrons* とは、ラテン語で頭部が張り出している、こぶを持つ魚”を意味するものです。大きなこぶがあるようにも見えるでしょう? 成熟したチダイでは、産卵期になると頭部が出っ張ってくるため、ハナオレダイ等と呼ばれることもあるのです。おめでたい席に欠かせない、味・姿色の三拍子がそろった赤色系の日本産タイ科魚類は、チダイを含む全四種。でも、チダイはマダイの陰に隠れがちです」。

マダイの代用魚?

「チダイは、マダイの代役を務めることが多い魚です。例えば、大学でマダイの解剖をするとき、学生数に足りない場合、小型で成熟し安価なチダイを使うこともしばしばです。また、マダイに代わって食卓に並ぶこともあります。チダイは決してマダイの偽ものではありません。マダイは春に産卵期を迎え、桜鯛と称されるほど美しい体色となりますが、産卵期が終わるとその身は痩せて味が落ちます。そこで、チダイの出番です。

うです。長崎をはじめ、様々な地方でチコダイ(小さいタイの意)と呼ばれ、関東周辺では、他にハナダイとしても有名です。ヒレナガと呼ぶ地域もありますが、そこらはヒレコダイを指している可能性があります。チダイの背鰭の一番高い部分を含めて二つの棘(正確には前から数えて第三・四棘)は、糸状にやや伸長しているのが特徴ですが、ヒレコダイではそれらの棘が著しく伸長しています。長崎魚市場で調べてみると、チダイとヒレコダイをまとめてチコダイと呼んでいるようです。同じ漁法で獲れるキダイ(レンコダイ)という魚も、チコダイと間違えられることがあります。キダイはタイ科キダイ亜科に属し、類縁関係はマダイよりも遠い魚です。
なんだか混乱しそうやややこしい話ですね。

学名の由来になった 頭のこぶ

「チダイも長崎とは縁のある魚です。この連載で以前、シーボルトが長崎からオランダ・ライデンに持ち帰った標本に基づき、多くの種が新種として記載されたことを紹介しました。チダイも同じく長崎からの標本に基づき、一八四三年に Temminck and Schlegel により *Chrysophrys tumifrons* と名付

チダイは秋に産卵期を迎えます。マダイの味が落ちる春の終わりから夏にかけては、チダイが最も美味しい季節。チダイは尾頭付きの塩焼きや鯛めしの材料には最適で、刺身、煮つけ、揚げ物など万能な食材です。でも、近年では昔のようには獲れなくなってきたため、その代用魚としてカナリーチダイなどの別種が輸入されているようです。日本は四季に恵まれた島国で、地域ごとに多種多様な環境と生物にあわせて魚食文化が形作られてきました。今では輸入や養殖ものがスーパーでも手に入るため、便利な反面、地域性や季節感を感じ難くなっているかもしれません。四季折々の変化に合わせて、その土地で獲れる旬のものを味わうのが自然の流れ。この先もずっと変化に富んだ地域の旬の魚を味わえるように、魚食文化の伝統を守り伝えていきたいものです。
旬の美味しい地魚が食べられる「めでたい」毎日を、もっと大切にしましょう。



解説 山口敦子

長崎大学水産・環境科学総合研究科教授

Yamaguchi Atsuko

東京大学大学院農学生命科学研究科博士課程修了。2000年から長崎大学。専門はエイやサメなど魚類学と水産資源学の研究。主な著書に「干潟の海に生きる魚たちー有明海の豊かさ危機」(東海大学出版)など。

Glover Atlas

チダイ

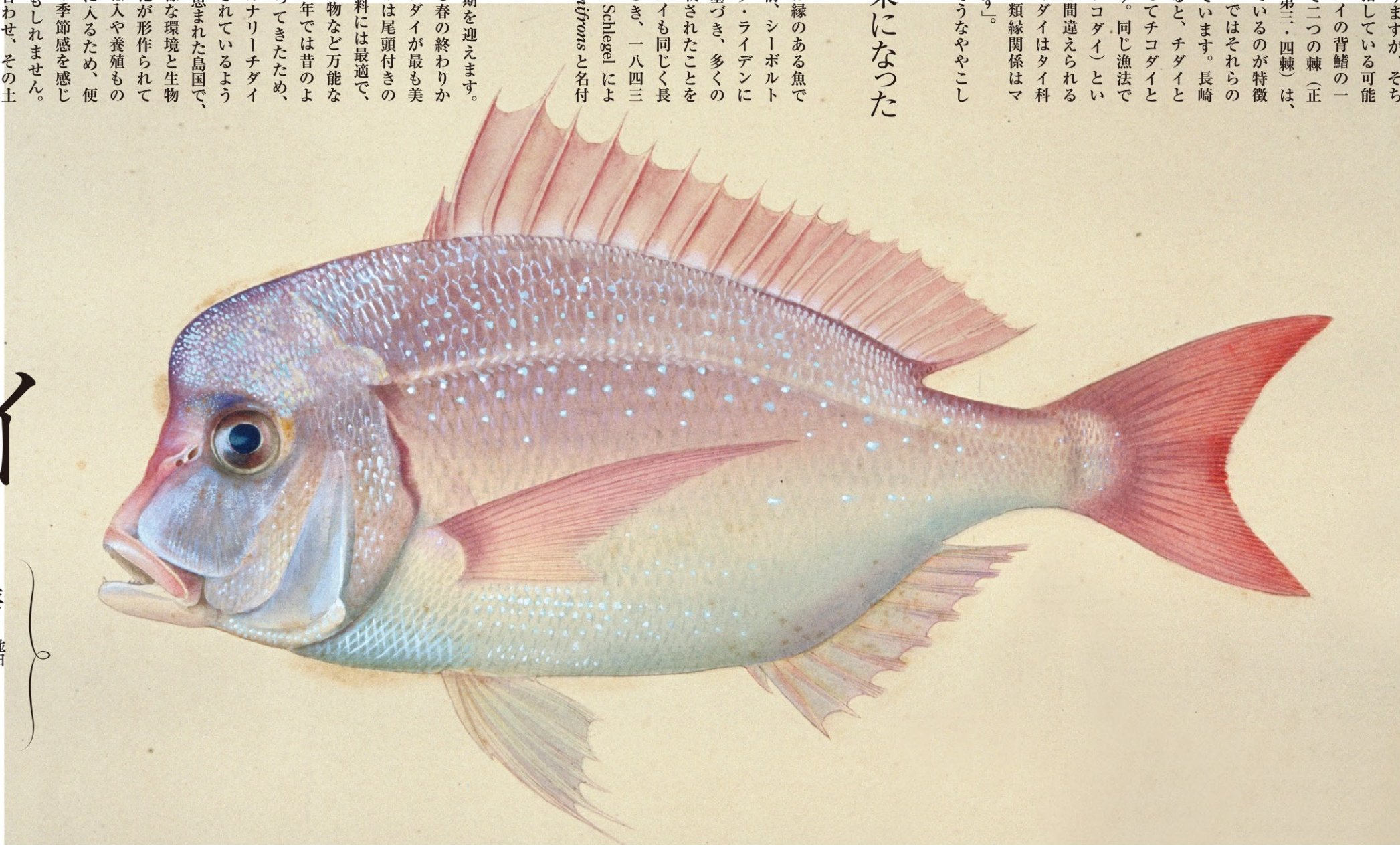
Eyinnis tumifrons

画家 長谷川雪香

グラバー図譜

日本西部及び南部魚類図譜

Fishes of Southern
& Western Japan



長崎大学附属図書館のホームページでもご覧いただけます。

<http://oldphoto.lib.nagasaki-u.ac.jp/GloverAtlas/>

長崎大学広報誌

[チョーホー]

Choho
Vol.48

編集後記

大学受験に向け、いま一生懸命にがんばっている皆様にとって、大学生活の実態は、最も知りたいことの一つでしょう。この号では、長崎大学に在学中のさまざまな学部学生の生の声を集め、「長崎大学4年間まるわかり」と題した特集を企画いたしました。入学から卒業、そして就職までの道のりは、学部によっても異なりますが、長崎大学を目指す受験生にとって、先輩たちからのメッセージが大いなる励みとなれば幸いです。

今回から、新企画「大学の研究最前線」をスタートさせました。わかりやすさを前提にしつつも、アカデミックな香りを損なわないように、研究者自身に研究内容を紹介していただきました。「長崎大学のいま」は、「環境科学部」です。久々の「グラバー図譜」もお楽しみください。

(原田哲夫)

[編集・発行]

Choho企画編集会議

編集長

原田 哲夫 広報戦略本部副本部長
工学研究科 教授

副編集長

池田 幸恵 多文化社会学部 准教授

編集委員

堀内 伊吹 副学長、教育学部 教授
吉田 高文 経済学部 教授
相楽 隆正 工学研究科 教授
松下 吉樹 水産・環境科学総合研究科 教授
小林 信之 医歯薬学総合研究科 教授
堀尾 政博 熱帯医学研究所 教授
佐々木 均 病院 教授
延田 恵 やってみゆるでスクマネージャー
深尾 典男 副学長、広報戦略本部副本部長 教授
石田 亮二 広報戦略本部 主査
高藏 祐亮 広報戦略本部 主任
田村 匠平 広報戦略本部

編集 川良 真理
デザイン 三浦 秀樹
企画編集アドバイザー 浅野 眞

TEL.095-819-2007
FAX.095-819-2156

(E-mail)
www_admin@ml.nagasaki-u.ac.jp

[発行日]2014年7月1日

プレゼントクイズ

長崎大学 通 クイズ

長崎大学に関する知る人ぞ知る新事実が続々登場するクイズです。さあ、あなたはどれが本当だと思いますか？

長崎大学には大学の関係者が利用できる宿泊施設があります。そこからの美しい眺めがネーミングの由来である、その施設の名前は？

ヒント:長崎大学のホームページの「サイト内検索」で名前を検索すると出てきます。

夕陽が眺められる
丘に建つ
「サンセットホテル」



1

名月が眺められる
場所に建つ
「観月荘」



2

海が眺められる
場所に建つ
「潮見苑」



3

解答は挟み込みのハガキにご記入のうえ、郵送してください(アンケート内容もしかりご記入ください)。正解者のなかから抽選で6名の方に長崎県産品をプレゼント!

前号の
答え

Q 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科が新しくマスコットキャラクターを作りました。それは何？



③ いしやっこちゃん

特技は乾燥や発酵、好物は大学いも、医歯薬の結束と同じく「固め」な性格……というマスコットキャラクター、いしやっこちゃん。全国でも数少ない、医学・歯学・薬学の融合を目指した大学院医歯薬学総合研究科に親しみをもってもらうと企画されたもので、名前の由来はもちろん「医歯薬」から。今後は着ぐるみも登場する予定なのどか。



今回のプレゼント

夏、冷たいそうめんの季節。南島原には、グルメも認める限定販売の極上熟成麺があります。それが手のべ陣川の「水と塩と麦と椿油の物語」。素材はすべて厳選した長崎県産。有馬湧水と小浜の天然塩、長崎県産の小麦と椿油を使っており、2月の一番寒くてよく晴れた日に、丹念に1本1本手作業で延ばして燃って仕上げます。第43回長崎県特産品新作展において優秀賞を受賞しています。今回は正解者のなかから抽選で6名に、この手延べそうめんセットをプレゼント。



選りすぐりの県産素材を使った手延べそうめん。850g(50g×17束)箱詰めで5400円(税込)。

提供/手のべ陣川 TEL.0957-84-3012

長崎県物産館 TEL.095-821-6580 http://www.e-nagasaki.com/contents/n_bussan/

平成26年度 長崎大学オープンキャンパス

- ◆日程 7月19日(土)
- ◆対象 高校生を中心とした長崎大学受験希望者(保護者同伴可)
- ◆申込方法 学部によっては先着順で人数制限があるため、必ず事前にお申し込みください。
- ◆申込締切 7月7日(月)
※水産学部の「オープンラボ」は、実験準備のため6月23日で受付終了しました。



文教キャンパス

多文化社会学部

- 時間/10:00~16:30
- 場所/教養教育講義棟 1F・3F
- 内容/【午前の部】学部の説明 10:00~11:00
Trial Lesson 11:00~12:30
なんでも相談室 11:00~13:30
【午後の部】学部の説明 13:30~14:30
Trial Lesson 14:30~16:00
なんでも相談室 14:30~16:30

※在学生が英語カフェと学生生活を紹介する学生イベントもあります。

教育学部(2部構成)

- 時間/9:30~16:00
- 場所/教養教育棟A-21~24 中部講堂ほか
- 内容/【第1部】9:30~12:30 【第2部】13:30~16:00
・全体説明会(約50分)
教育学部の概要や入試についての説明など
・各コース・専攻紹介(約100分)
各コース・専攻等による展示・紹介、入試に関する質問受付など

薬学部

- 時間/13:00~17:10
- 場所/薬学部多目的ホール、各研究室
- 内容/13:00~14:30 薬学部全体の概要や入試についての説明、卒業後の進路についての紹介など
14:50~17:00 研究室見学と体験実験 例「ウイルスを見てみよう」「アミノ酸、ペプチドって何?」「市販されている薬の成分を分析しよう」など、テーマ別14の実験から1時間ずつ2コマ体験できる。 ※受付時に班分けされる。

工学部

- 時間/10:00~16:00
- 場所/中部講堂、各研究室ほか
- 内容/①全体説明会
【午前の部】10:00~11:00 【午後の部】13:00~14:00
工学部全体の概要や入試についての説明、就職状況への説明など
②11:00~16:00 工学部6コースのコース紹介。
「未来に羽ばたくロボット技術」、「プラズマとは何か?プラズマを体験してみよう」、「スマホをタクト代わりに使った情報オーケストレーション」、「揺れを吸収してエネルギーに変える」、「放射線の拡散予測/景観シミュレーション」、「超音波化学を利用したナノ材料開発」などの研究室ツアー、体験コーナー、公開実験など。 ※個別相談あり

環境科学部

- 時間/10:00~14:30
- 場所/グローバル教育・学生支援棟ほか
- 内容/10:00~11:10 (1回目)
13:20~14:30 (2回目)
環境科学部全体の概要や入試についての説明、就職状況についての紹介など ※個別相談あり
●11:10~14:30 活動報告、公開実験

水産学部「オープンラボ」 ※今年の受付は終了

- 時間/13:00~
- 場所/水産学部に、各研究室、実験室
- 内容/13:00~13:20
水産学部全体の概要についての説明
13:20~ 体験実験、体験授業
例えば「サメの解剖」「魚からまぼこを作って食べ比べてみよう」「舟艇の操船実験」など、テーマ別に18件の実験が体験できる。

片淵キャンパス

経済学部(2部構成)

- 時間/10:00~15:30
- 場所/片淵キャンパス 経済学部講義棟
- 内容/経済学部全体の概要説明(10時から13時30分からの2回)の他、各ブースに分かれて、少人数で出身地別の上級生による学生生活、サークル活動、授業、入試の説明会、卒業生による就職説明会を行う。また、模擬講義・模擬ゼミの他、キャンパスを利用したクイズラリーなどのアトラクション、生協でのランチミーティングを在学生が主体となって実施する。

坂本キャンパス ①

医学部医学科

- 時間/14:00~16:30
- 場所/医学部 記念講堂
- 内容/医学部紹介、入試概要、教育プログラム、学生生活の説明、推薦入試等入学生の活動紹介、質疑応答、施設見学。

附属図書館医学分館

- 時間/10:00~17:00
- 場所/附属図書館医学分館
- 内容/入館自由、「近代医学史料展示室」見学自由

坂本キャンパス ②

医学部保健学科

- 時間/9:00~13:00(受付は、12:00まで)
- 場所/101・102講義室、各実習室ほか
- 内容/9:00~9:30、9:30~10:00
保健学科全体の概要や入試についての説明
9:00~13:00 体験実習
例えば「包帯法」「人工呼吸と心臓マッサージ体験」「健康チェック」など、テーマ別14の実習を体験できる(予定)。

歯学部

- 時間/13:00~15:30
- 場所/歯学部福利厚生棟3F
- 内容/13:00~14:50 歯学部の概要や入試についての説明、在学生による学生生活の紹介 ※質疑応答もあり
14:50~15:30 歯学部及び病院的施設見学

その他

移動オープンキャンパス(申込不要)

- 日時/8月17日(日) 13:00~16:00 ●場所/福岡県立城南高校

高校教員向けオープンキャンパス

- 日程/9月19日(金)
●場所/文教キャンパス、坂本キャンパス、片淵キャンパス

申込方法や最新情報など、詳しくは長崎大学のホームページをご覧ください。

<http://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/open/>